



六角川水系 内外水統合の水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、現況の六角川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による六角川等の氾濫及び雨水出水による氾濫の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水強度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率分布や時間分布、計算手法等の違いにより、浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 (5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項
 (1) 公表年月日 令和8年3月31日
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省九州地方整備局
 ・武雄河川事務所：六角川水系六角川流域
 (3) 実施区域
 【武雄河川事務所】
 ・六角川水系六角川
 左岸：佐賀県武雄市横町大字永島字野見1748番地先から海まで
 右岸：佐賀県武雄市横町大字永島字北上野555番地先から海まで
 ・六角川水系牛津川
 左岸：佐賀県多久市多久町字深水4560番地先から六角川への合流点まで
 右岸：佐賀県多久市多久町字大段4304番地先から六角川への合流点まで
 ・六角川水系武雄川
 左岸：佐賀県武雄市武雄町大字永島字戸井濃12912番地先から六角川への合流点まで
 右岸：佐賀県武雄市武雄町大字永島字牛飼13482番の1地先から六角川への合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨
 六角川水系
 ・年超過確率1/10（六角川流域の6時間の総雨量150mm）
 ・年超過確率1/30（六角川流域の6時間の総雨量189mm）
 ・年超過確率1/50（六角川流域の6時間の総雨量209mm）
 ・年超過確率1/100（六角川流域の6時間の総雨量236mm）
 ・想定最大規模（六角川流域の6時間の総雨量424mm）
 雨水出水

対象地区	総雨量の時間	1/10	1/30	1/50	1/100
六角川上流内水域	24時間	269	353	396	459
六角川左岸内水域	24時間	258	334	371	425
六角川右岸内水域	24時間	261	337	375	428
牛津川上流内水域	24時間	285	367	407	465
牛津川左岸内水域	24時間	273	358	400	460
牛津川右岸内水域	24時間	279	352	391	447

(5) 河道条件
 ・六角川、牛津川、武雄川：現況
 (6) 下水道等条件
 ・施設条件：現況
 ・その他計算条件等：
 ・このシミュレーションは、対象降雨に応じて算出した内水域への流入量および排水先の河道水位をもとに、排水施設を考慮して解析を行い、河川の水位条件により排水が制約される水を内水浸水として扱い、浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。
 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
 (7) 関係市町村 佐賀市、多久市、武雄市、小城市、埴野市、大町市、江北町、白石町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

